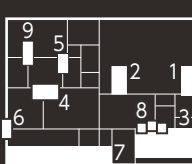




江戸城築城の初期段階である元和元(1615)年から411年。山車練物の行列が江戸城に入ったときから始まったとされる山王祭は、歴史と伝統を重ね、今もなお江戸三大祭のひとつとして称される。人々の魂と肉体が結集した祭りは、単にまちににぎわいをもたらすだけではない。脈々と流れる江戸に息づく空間が、世代や時間を超えて今よみがえる。



- 1 「山王御祭礼図」(一部) 東京都立中央図書館
- 2・4・6・7 歌川国芳 画「山王祭之図」(一部), 写, 国立国会図書館デジタルコレクション (<https://dl.ndl.go.jp/pid/2542413>)
- 3 歌川芳藤 画「東都日枝大神祭礼練込之図」
- 5 「江戸風俗十二月之内」 「六月山王祭」(一部) 東京都立中央図書館
- 8 地元の小学校が法被を作って祭りに参加しました
- 9 江戸型山車「静御前」 栃木県指定有形民俗文化財

